

作成日:2022年02月12日

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称:レイシス忌避フィルム 吊り下げタイプ

製品番号(SDS NO):LA-610-004

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途:虫よけ

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称:萩原工業株式会社

住所:岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地

電話番号:086-440-0836

FAX:086-440-0845

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
トランスフルトリン	118712-89-3	5 - 15	3-4369
ステアリン酸2-ヘキサデシル	25339-09-7	10 - 20	2-2489
炭酸カルシウム	1317-65-3	30 - 40	-
ポリエチレン	非公開	24 - 39	非公開
ステアリン酸亜鉛	557-05-1	< 1	2-615
酸化カルシウム	1305-78-8	< 3	1-189
ステアリン酸カルシウム	1592-23-0	< 1	2-611
二酸化チタン	13463-67-7	< 3	1-558
C.I. ピグメントブルー 15	147-14-8	< 1	5-5216; 5-3299; 5-3300

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に掲載されていません。

危険有害成分

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

二酸化チタン, C.I. ピグメントブルー 15

## 4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物、炭化水素、フッ素化合物を生成する。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

本製品は殺虫剤有効成分を含ませた虫よけアイテムであり、漏洩のおそれはない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項データなし

接触回避データなし

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

(避けるべき保管条件)

乳幼児の手の届かないところに保管すること。

高温、着火源(裸火、火花等)を避けること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(炭酸カルシウム)

日本産衛学会(第3種粉塵)(吸入性粉塵) 2mg/m<sup>3</sup>; (総粉塵) 8mg/m<sup>3</sup>

(カーボンブラック)

日本産衛学会(第2種粉塵)(吸入性粉塵) 1mg/m<sup>3</sup>; (総粉塵) 4mg/m<sup>3</sup>

(二酸化チタン)

日本産衛学会(第2種粉塵)(吸入性粉塵) 1mg/m<sup>3</sup>; (総粉塵) 4mg/m<sup>3</sup>

(ステアリン酸亜鉛)

ACGIH(2016) TWA: 10mg/m<sup>3</sup>(I); 3mg/m<sup>3</sup>(R) (下気道刺激)

(酸化カルシウム)

ACGIH(1990) TWA: 2mg/m<sup>3</sup> (上気道刺激)

(ステアリン酸カルシウム)

ACGIH(2016) TWA: 10mg/m<sup>3</sup>(I); 3mg/m<sup>3</sup>(R) (下気道刺激)

(二酸化チタン)

ACGIH(1992) TWA: 10mg/m<sup>3</sup> (下気道刺激)

ばく露防止

設備対策

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

通常の使用において保護具着用の必要は無い。

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 固体 (シート状)

色 : データなし

臭いデータなし

臭いの閾値データなし

融点/凝固点 : 適用外

沸点又は初留点データなし

可燃性(ガス、液体及び固体): 可燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度 : 不溶

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

蒸発速度データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性 : 適用外

## 10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

高温、着火源(裸火、火花等)を避けること。

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、炭化水素、フッ素化合物

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(酸化カルシウム)

rat LD50=5000mg/kg (食品安全委員会添加物評価書, 2013)

(二酸化チタン)

rat LD50 &gt;5000mg/kg (SIDS, 2015)

(C.I. ピグメントブルー 15)

rat LD50&gt;10000mg/kg (SIDS, 2002)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(二酸化チタン)

hamster LD50&gt;10000mg/kg (HSDB, Access on May 2016)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(二酸化チタン)

dust: rat LC50 &gt;5.09mg/L (SIDS, 2015)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(酸化カルシウム)

皮膚刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(酸化カルシウム)

重度のやけど (ACGIH 7th, 2001)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[日本公表根拠データ]

(二酸化チタン)

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)

(ポリエチレン)

IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(二酸化チタン)

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(ステアリン酸亜鉛)

ACGIH-A4(2016): ヒト発がん性因子として分類できない

(ステアリン酸カルシウム)

ACGIH-A4(2016): ヒト発がん性因子として分類できない

(二酸化チタン)

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

(二酸化チタン)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性データなし

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

## 水生環境有害性

## 水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(酸化カルシウム)

魚類 (コイ) LC50=1070mg/L/96hr (IUCLID, 2000)

(二酸化チタン)

甲殻類 (オオミジンコ) EL50 &gt; 100mg/L/48hr (SIDS, 2015)

(ステアリン酸亜鉛)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50 &gt;100mg/L/48hr (EU-RAR, 2008)

## 水溶解度

(酸化カルシウム)

0.12 g/100 ml (HSDB, 2004)

(二酸化チタン)

溶けない (ICSC, 2002)

(C.I. ピグメントブルー 15)

溶けない (ICSC, 2006)

(ステアリン酸カルシウム)

0.004 g/100 ml (15°C) (ICSC, 2003)

(ステアリン酸亜鉛)

溶けない (ICSC, 2000)

## 残留性・分解性

(ステアリン酸亜鉛)

急速分解性なし (OECD TG 301Dによる28日間の分解度試験による分解度: 5% (EU-RAR, 2008))

## 生体蓄積性

(C.I. ピグメントブルー 15)

log Pow=6.6 (calc.) (ICSC, 2006)

(ステアリン酸亜鉛)

log Pow=1.2 (ICSC, 2000)

## 土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

## 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

## 廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

## 汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない

IATA 航空危険物規則書に該当しない

## 環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Z類)

二酸化チタン

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令  
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称通知危険/有害物

二酸化チタン(別表第9の191); C.I. ピグメントブルー 15(別表第9の379)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

ステアリン酸亜鉛; C.I. ピグメントブルー 15

水質汚濁防止法

指定物質

C.I. ピグメントブルー 15

法令番号 53

ステアリン酸亜鉛

法令番号 54

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第61版 (2020年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (Table 3 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。